

前田道路／実質CO₂フリー電力の導入拡大／関東3支店営業所などに

前田道路は本店管轄施設や関東3支店の営業所・合材工場などを対象に、2022年度から二酸化炭素（CO₂）排出量ゼロの電力を導入する。実質CO₂フリー電力は昨年4月に本店社屋（東京都品川区）に導入済み。対象の拡大で年間電力由来のCO₂排出量の約37%、同社CO₂総排出量の7%に相当する約1万7700トンを削減する。

対象施設のうち本店管轄施設はつくばテクノセンターや枝川ビル、子会社の砂町アスコンや京浜リサイクルセンター。東京・北関東・西関東の3支店では工事営業所計15カ所、合材工場計27カ所に導入する。年間調達予定の非化石証書量は3万9000メガワット時。

同社はCO₂を排出しない再生可能エネルギー由来の環境価値を活用した実質CO₂フリー電力の導入に加え、低炭素合材の製造・販売や道路工事の低炭素化などにも注力していく。

記事ID：3202202020307